

静岡県立総合病院

無菌病棟のリニューアル

令和元年9月4日 定例幹部職員会議

背景と目的



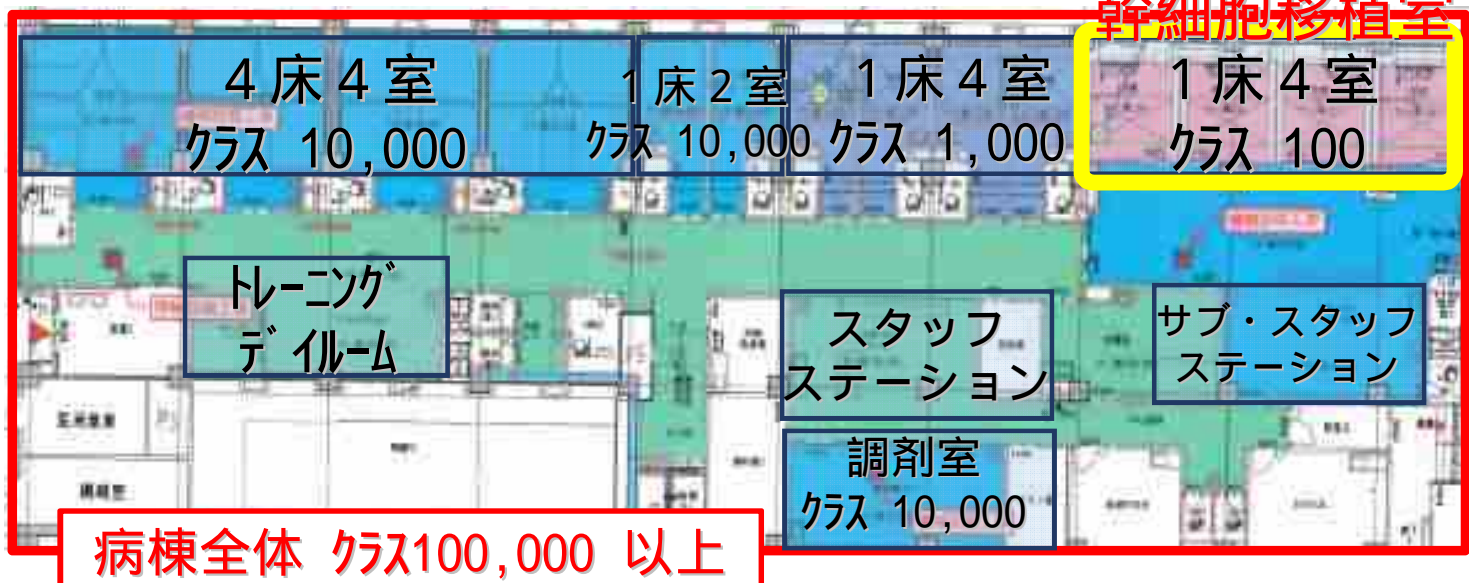
先端医学棟が平成29年9月に稼動

- ・旧手術室エリアは先端医学棟に移転
- ・旧無菌エリアは、施設の老朽化、カビの発生等により治療環境の劣悪化
- ・化学療法件数の増加により、無菌室を必要とする患者数は増加



旧手術室エリアの空いたエリア
に無菌病棟を移転整備

新無菌病棟の詳細



無菌室・・・白血病や再生不良性貧血、多発性骨髄腫などの治療により白血球数が減少し抵抗力が落ちた患者のために、細菌、真菌(カビ類)、ウイルスなどの病原体を極力減らした病室。数字が小さいほど、空気中の病原体等の微粒子が少ない。

3

病床数・無菌室数新旧比較



	清浄度	移転前	移転後	増減
クラス	100 (個室)	2床 (2室)	4床 (4室)	+2床 (+2室)
	1,000 (個室)	—	4床 (4室)	+4床 (+4室)
	10,000 (個室)	6床 (6室)	2床 (2室)	+12床 (±0室)
	10,000 (4床室)	—	16床 (4室)	
	計	8床 (8室)	26床 (14室)	+18床 (+6室)
	面積	約250m ²	約1,000m²	+約750m²
	無菌エリア	病棟の一部	病棟全体	-

4

特 徴



病棟全体を無菌管理

- ・病棟全体をクラス100,000以上で管理
- ・病棟内にトレーニングスペース、デイルームを整備することで療養環境が向上



効果的なリハビリテーションの実施により、
体力の低減を最低限に抑えられる

5

特 徴



幹細胞移植室の拡充

- ・骨髄バンクのドナー登録数 **40万人超**
- ・血液疾患患者への治療法が、**末梢血幹細胞移植に拡大**
- ・骨髄移植治療の社会的条件が整ってきている



クラス100の幹細胞移植室を従来の2室から4室に拡充し、移植患者の増加に対応

6



茶色を基調とした内装と間接照明

7

まとめ



当院における3つの医療の柱

がん

循環器

救急



当院の強みのある診療科をさらに強化

信頼・安全安心
魅力ある病院

8